



2022年11月4日

社会福祉法人清流

さつきの家

施設長 小川裕子

## 「さつきの家」だより

11月。朝の風の中に「寒さ」を感じる日が出てきました。そろそろ冬支度を始めなきゃ！と、障害者トイレコーナーに暖房器具をセットしました。五月が丘で初めて迎える冬、どんな冬になるのかな？自然を司る神様、どうぞみんなをあんまり冷やさない様に、ドキドキします。そして「さつきの家」のみんなは、「つちくれ祭り」と「五月が丘公民館祭り」に参加します。今年一年は、どれもこれも「初」です。ずっとドキドキです。

### ～発達について考える～

ドキドキする。初めてのことは、みんなそうですよね。障害があるとか無いとか関係ない。それでも、「あなたは大丈夫だよ。きっと乗り越えられるよ。」と、大きな懐で受け止められていると、なんだか頑張れるような気持ちになります。

赤ちゃんの頃、お母さんと赤ちゃんは、一心同体に近かったですよね。でも、だんだんと赤ちゃんはお母さんを土台に世界を広げていきます。「あれ？何だろう。」と、周囲の出来事に気づき、注目し、新しい世界を取り込んでいく。「指さし」をしては新たな発見をお母さんに伝え、共感していく。そして、「～ダ、～ダ」と、どんどん自分のやりたいことを行動に移していく。その行動を止められると「ギャー！！」と、思いっきり反応する。それでも、その次には幼児期に入って「～デハナイ、～ダ。」と、相手にも思いがあることに気づき、2つの中から1つを選び取る力を得ます。「デキタ！！」をいっぱい積み重ね、良き見通しのために、「今」を頑張るようになる。自分を認められ、自分のことに自信が持てるようになると、友達と一緒に楽しくなって、友達の中で少しずつ「我慢する」力も身に着けていく。その力を持って学校教育の場に入っていく。

この人としての土台の力を、障害のある仲間たちは、ゆっくりじっくり時間をかけて獲得していきます。発達の階段は、それぞれ、一人ひとり角度は違いますが、必ず積み重なっていきます。今、どの段階かな？と、「発達を見極めるメガネ」を周りの支援者が持っている、優しい気持ちで眺めて、待ってあげることが出来ます。本人なりの頑張りを、理解することが出来るのではないのでしょうか。運動・認知・社会性。人はみんな凸凹です。あなたはあなたのままで、少しずつ昨日より今日！と、積み重ねていけばいいんです。「人間は、一生発達するんやで！！」（うちのじいちゃんの口癖でした。）ファイト！

## 保護者へのお願い

いつも、気持ちよくご協力していただき、本当にありがとうございます。

初めての「つちくれ祭り」「五月が丘公民館祭り」です。今年度は、保護者同伴での参加をお願いしています。今年度経験をして、来年度の参加の仕方を検討していきます。ご協力、本当にありがとうございます。

○ 「つちくれ祭り」では、保護者の昼食の用意はありません。「つちくれのパン」は、300個販売予定です。飲み物の自動販売機があります。

◎ 「さつきの家でのパン販売」は、11月10日・24日（木）です。

◎ きょうされんの販売・さつきの家の自主製品へのご協力を、どうぞ引き続きよろしく申し上げます。（短冊カレンダーは、順調です。さつきの家独自の「卓上カレンダー 200冊」への協力をよろしく申し上げます。）

◎ 「さつきの家だより」は、地域みなさまに理解していただきたいという願いを持って、定期的に発信・HP掲載してきています。（今は、まだ配布は保護者のみです。）

連絡先：社会福祉法人清流「さつきの家」 082-942-4778（電話）

082-942-4779（FAX）

satsuki-himawari@galaxy.ocn.ne.jp（メール）